令和7年度派遣研修実施状況

資料3

	研修名	研修機関	研修日程	研修期間	研修方法	派遣人数	派遣職員	内容
1	児童サービス研修A分科会児童サービス入門	埼玉県図書館協会	令和7年7月2日 令和7年9月17日 令和7年11月19日 令和8年1月21日	4日間	集合研修	1名	井上　侑香	児童サービス入門
2	第1回障害者サービス研修会	埼玉県図書館協会	令和7年7月4日	3時間	集合研修	1名	大出　育子	(1)障害者サービスの概要と千葉図書館の障害者サービス (2)みなサーチの紹介ー障害者サービス用飼料の検索の利用方法についてー (3)みなサーチを利用した検索実習
3	多文化サービススタート講座	埼玉県立熊谷図書館	令和7年9月28日	30分	オンライン	2名	成瀬　圭子 浅井　文絵	「外国語資料の書誌作成を学ぶ」 講師：埼玉県立図書館　多文化サービス担当
4	第2回障害者サービス研修会	埼玉県図書館協会	令和7年11月21日	3時間	集合研修	1名	大出　育子	(1)障害者サービスと著作権法 (2)録音図書ができるまで (3)音訳の実際～利用者にとって聞きやすい音訳とは～
5	JLA認知症バリアフリー図書館特別検討チーム研修会	日本図書館協会	令和7年12月4日	1時間30分	オンライン	1名	小林　理恵	「健康寿命の鍵は本棚にあった～高齢者と図書館の関係について～」 佐藤豪竜氏（慶應義塾大学総合政策学部専任講師）
6	第2回障害者サービス研修会	埼玉県図書館協会	令和7年12月25日	2時間	オンライン	3名	坂本　郁美 辻　みづき 佐藤　恵	(1)障害者サービスと著作権法 (2)録音図書ができるまで (3)音訳の実際～利用者にとって聞きやすい音訳とは～
7	児童文学連続講座「物語の伝え方―児童文学基礎講座―」	国際子ども図書館	令和8年1月7日	1時間31分	オンライン	3名	安蒜　正美 辻　みづき 佐藤　恵	「絵本とはどのようなメディアなのか―語りの技法を知る―」 講師：今田　由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）
8	児童文学連続講座「物語の伝え方―児童文学基礎講座―」	国際子ども図書館	令和8年1月9日	1時間31分	オンライン	3名	安蒜　正美 平山　仁美 辻　みづき	「語り継がれる昔話、その魅力」 講師：久保　華誉（学習院大学、武蔵野大学非常勤講師）
9	児童文学連続講座「物語の伝え方―児童文学基礎講座―」	国際子ども図書館	令和8年1月9日	1時間31分	オンライン	4名	久保田　砂苗 平山　仁美 辻　みづき 佐藤　恵	「児童文学概論―文字で書かれた物語の力―」 講師：横川　寿美子（元帝塚山学院大学教授）
10	児童文学連続講座「物語の伝え方―児童文学基礎講座―」	国際子ども図書館	令和8年1月9日	1時間31分	オンライン	4名	久保田　砂苗 平山　仁美 安蒜　正美 佐藤　恵	「「詩」とは何か、どう手渡すか―日本の子どもの文学における「詩的なもの」についても―」 講師：宮川　健郎（大阪国際児童文学振興財団理事、武蔵野大学名誉教授）
11	児童文学連続講座「物語の伝え方―児童文学基礎講座―」	国際子ども図書館	令和8年1月15日	1時間31分	オンライン	2名	山縣　陽子 吉富　美帆	「語り継がれる昔話、その魅力」 講師：久保　華誉（学習院大学、武蔵野大学非常勤講師）
12	地域資料研修会	埼玉県図書館協会	令和8年2月6日	50分	オンライン	1名	木村　麗子	「地域資料、特に映像資料のデジタル化について」
13	県内公共図書館長等研修会	埼玉県図書館協会	令和8年2月9日	1時間30分	オンライン	1名	小林　理恵	問題利用者への対応（図書館の危機管理） 講師：千錫烈（関東学院大学教授）
14	第2回公共図書館等職員研修会	埼玉県図書館協会	令和8年2月11日	1時間30分	オンライン	1名	小林　理恵	生成 AI・情報リテラシーと図書館 演題：「ネットと生成 AI の時代に、なぜ読書？なぜ図書館？？？」 講師：梅澤貴典氏（中央大学 職員/都留文科大学 非常勤講師）

令和7年度内部研修実施状況

	研修名	目的	研修日程	研修期間	研修方法	参加人数	対象者	内容
1	図書館職員専門講座	市内小中学校の教職員、学校図書館アドバイザー及び図書館職員を対象に絵本の読み聞かせに関する研修を行う。「なぜ、子どもたちに読み聞かせをするのか、読み聞かせの意義」「どんな絵本を選べば良いのか」などを具体的に学ぶ。	令和7年11月27日	1時間30分	集合研修	47名	和光市図書館職員及び学校図書館に関わる職員	読み聞かせは、物語を読むだけでなく、子どもたちの思考や感情に影響を与える重要な活動です。これにより、言語能力が向上し、情緒的な結つきが深まります。本を選ぶ際は、子どもの年齢に合った内容やテーマ、言葉遣いを考慮し、多様な文化や価値観を理解する作品も必要です。また、読み聞かせの技術を向上させることも重要で、声のトーンや表現力を工夫しつつ子どもたちの反応を観察することで、効果的な読み聞かせが可能になります。私たち大人は、心を込めた読み聞かせを通じて子どもたちの成長を支え、次世代に読書の楽しさを伝える責任があります。